

東北地方 1か月予報

(7月12日から8月11日までの天候見通し)

平成15年7月11日
仙台管区气象台発表

<特に注意を要する事項>

今後1週間は、中頃を中心に最低気温が17度以下となり、天気がぐずつく時期もある見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

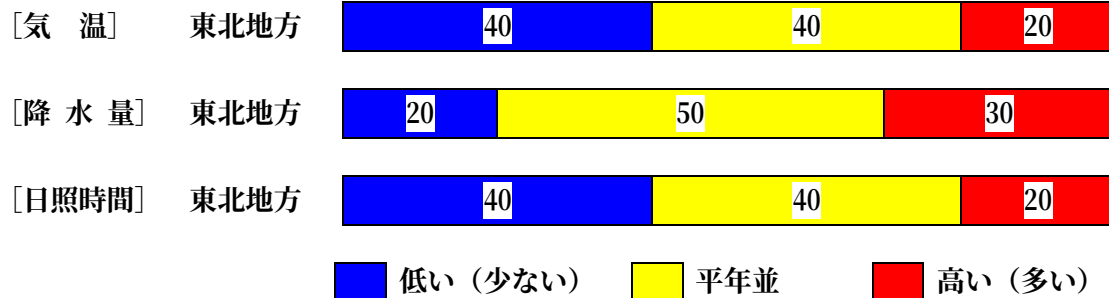
向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとおりです。

天気は概ね周期的に変わりますが、低気圧や前線の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多いでしょう。

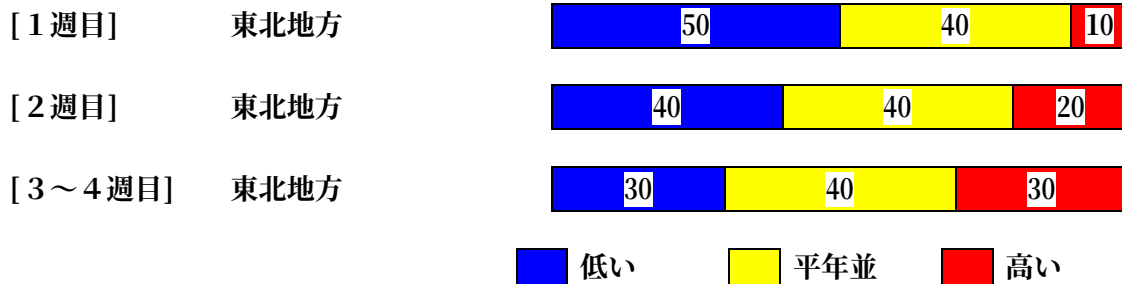
向こう1か月の気温は平年並か低い、降水量は平年並、日照時間は平年並か少ないでしょう。

週別の気温は、1週目は低い、2週目は平年並か低い、3～4週目は平年並の見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 7月12日(土)～8月11日(月)
1週目 : 7月12日(土)～7月18日(金)
2週目 : 7月19日(土)～7月25日(金)
3～4週目 : 7月26日(土)～8月8日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は7月18日
3か月予報：7月24日(木) 14時00分

＜参考資料（平年並の範囲等）＞

（１）30年平均値（向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3～4週目の平均気温）

	気 温 (℃)	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温(℃)		
				1 週目	2 週目	3～4 週目
大船渡	22.3	154.4	163.8	20.6	21.8	23.2
新庄	23.5	173.0	175.0	21.9	23.2	24.4
若松	24.5	145.6	192.2	23.1	24.2	25.3
深浦	22.6	145.7	188.9	21.0	22.3	23.5
青森	22.5	108.5	189.5	20.7	22.0	23.5
むつ	21.0	114.9	161.1	19.2	20.5	22.0
八戸	21.7	109.1	179.4	19.8	21.2	22.8
秋田	24.0	164.6	189.9	22.3	23.7	24.8
盛岡	22.9	164.4	158.1	21.4	22.6	23.8
宮古	21.4	133.3	163.4	19.6	20.8	22.4
酒田	24.4	168.0	205.4	22.7	24.1	25.3
山形	24.4	140.3	176.4	22.8	24.1	25.3
仙台	23.4	151.3	148.0	21.6	22.9	24.3
石巻	22.7	115.5	167.9	21.0	22.2	23.5
福島	24.8	137.9	153.6	23.1	24.3	25.7
白河	23.0	184.1	149.6	21.7	22.7	23.7
小名浜	22.9	114.4	179.5	21.4	22.5	23.6

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(℃)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.6～+0.7	75～ 117	90～ 112
東北日本海側	-0.6～+0.6	78～ 117	92～ 112
東北太平洋側	-0.5～+0.9	76～ 117	91～ 116

（３）この予報期間の1週目、2週目、3～4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北地方	-0.9～+0.9	-0.7～+1.1	-0.4～+1.0
東北日本海側	-0.8～+0.7	-0.7～+1.0	-0.6～+0.8
東北太平洋側	-0.9～+1.0	-0.7～+1.3	-0.3～+0.9

＜参考資料（利用上の注意）＞

- （１）気温・降水量等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間における各階級の出現率が等分（それぞれ33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。
- （２）確率は、予報した階級が実際に起こる割合（出現率）を表しています。たとえば、確率60％の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率（各階級ともに33％）から大きく隔たった確率（10％や60％、70％など）を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。
- （３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の2分の1より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成 15 年 7 月 11 日 仙台管区气象台

1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう 1 か月(7 月 12 日～8 月 11 日)：

天気は概ね周期的に変わりますが、低気圧や前線の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は平年並か低いでしょう。

1 週目(7 月 12 日～7 月 18 日)：

向こう一週間、東北南部では気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の日が多いですが、東北北部では、期間の中頃までおおむね晴れるでしょう。

平均気温は低いでしょう。

2 週目(7 月 19 日～7 月 25 日)：

低気圧や前線の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は平年並か低いでしょう。

3～4 週目(7 月 26 日～8 月 8 日)：

天気は概ね周期的に変わり、太平洋高気圧に覆われて晴れて暑い日もありますが、低気圧や前線の影響でぐずつく時期もあるでしょう。

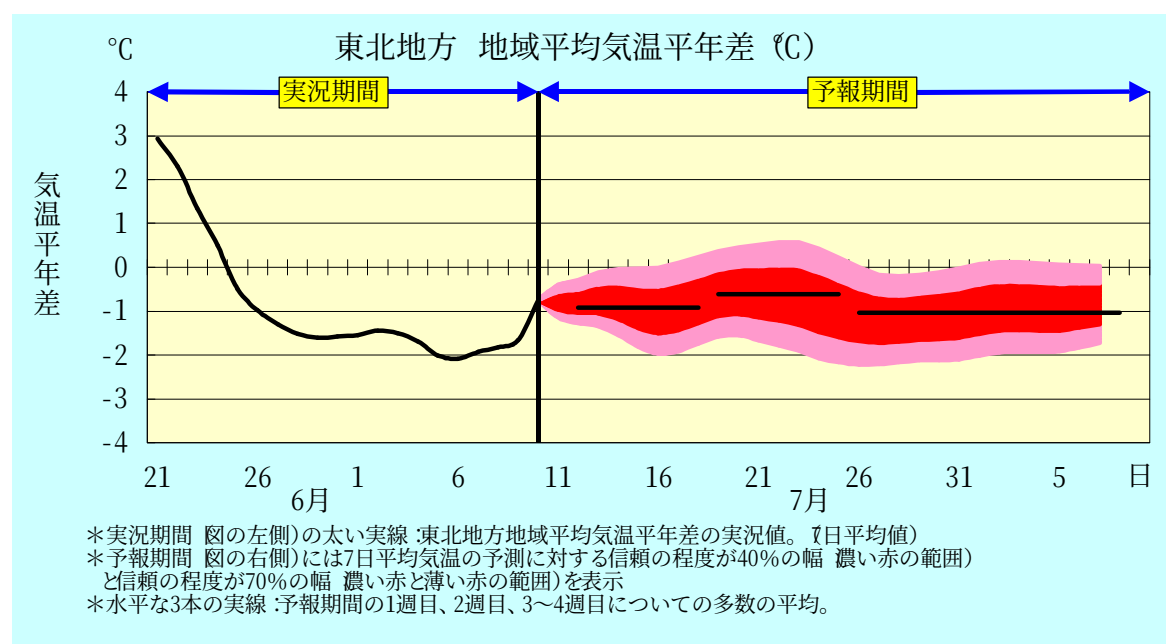
平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	14.8 日	2.8 日	3.9 日	8.1 日
東北太平洋側	13.1 日	2.4 日	3.3 日	7.4 日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1 週目、2 週目は「平年並」、3～4 週目は「低い」を予測している。予報は、週間予報資料等から 1 週目を「低い」、2 週目を「平年並か低い」、3～4 週目を「平年並」に変更する。なお、数値予報の信頼度は小さい。

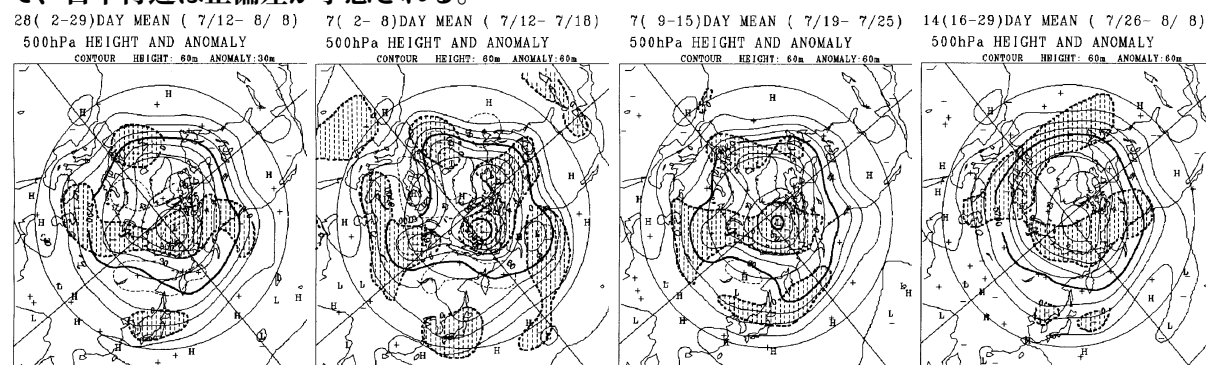


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、日本付近は弱いながら気圧の谷。太平洋高気圧は西へ強く張り出すが、北への張り出しは弱い。日本付近は負偏差に覆われ、平年に比べ曇りの日が多い見込み。

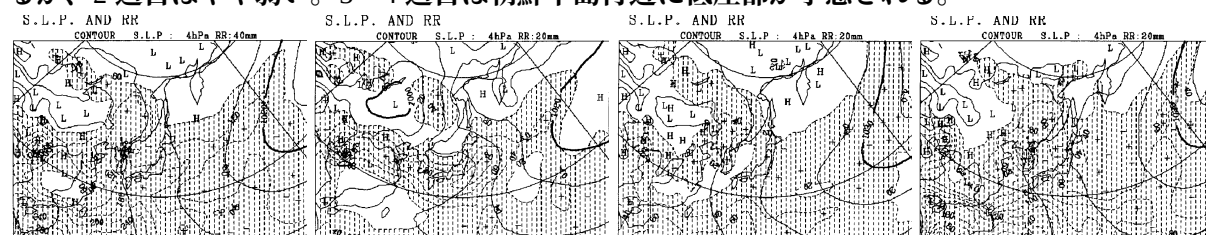
週別に見ると、1週目はオホーツク海の気圧の尾根が明瞭。日本付近は負偏差。2週目もオホーツク海の気圧の尾根は、弱まりながらも残る見込み。負偏差は北日本のみ。3～4週目は弱い西谷で、日本付近は正偏差が予想される。



地上気圧と降水量：

月平均では、オホーツク海に高圧部、本州上には低圧部が東西にのび、降水域が予想される。

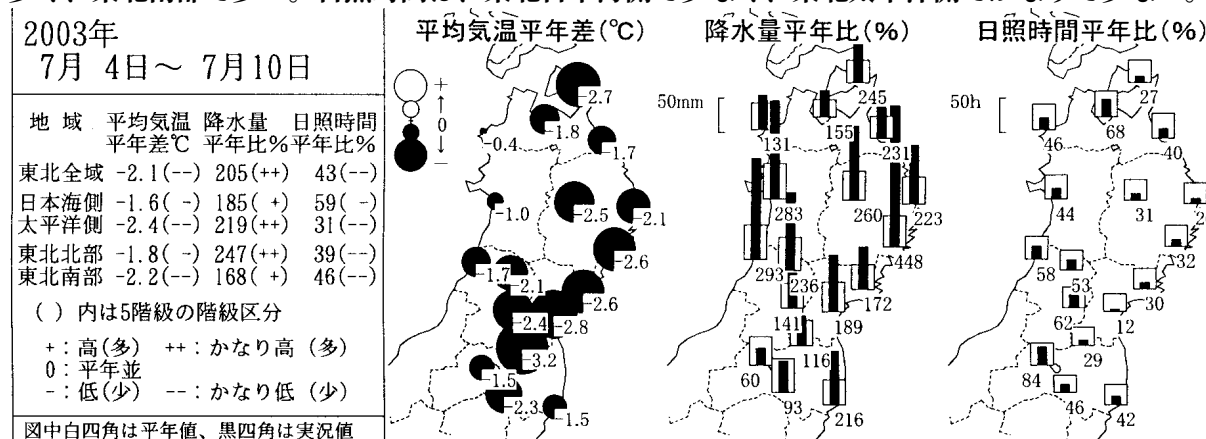
週別に見ると、1～2週目はオホーツク海に高圧部が予想される。本州上には低圧部が予想されるが、2週目はやや弱い。3～4週目は朝鮮半島付近に低圧部が予想される。



4. 最近1週間（7月4日～7月10日）の天候の経過

4日は低気圧の影響で雨となり、東北太平洋側では大雨となった所もあった。宮城県ではがけ崩れの被害が発生した。5～6日は梅雨前線がいったん南下し晴れた所もあったが、東北太平洋側では冷たく湿った東よりの風の影響を受けて気温が低く、日照時間が少なくなった。7日以降、再び梅雨前線が北上して曇りや雨の日が多くなり、10日は広い範囲で大雨となった。

平均気温は、東北日本海側で低く、東北太平洋側でかなり低い。降水量は、東北北部でかなり多く、東南北部で多い。日照時間は、東北日本海側で少なく、東北太平洋側でかなり少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)